

## IAUD Newsletter vol.10 第 10 号 (2018 年 1 月号)

1. 古瀬敏新理事長より新年および就任のご挨拶、新役員の紹介……………1
2. 「ジャパンシルバーEXPO2017」UD ステージ開催報告……………3
3. IAUD 2018 年 1 月の予定……………8

### 超高齢化を踏まえた UD 成果を国際的に発信

#### 古瀬敏新理事長より新年および就任のご挨拶、新役員の紹介

新年明けましておめでとうございます。本年も IAUD へのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

2017 年 10 月 30 日の第 2 回臨時理事会により、清水隆明前理事長に代わり、新しく理事長に古瀬敏・静岡文化芸術大学名誉教授が選出されました。

また、同時に新副理事長に関根千佳・(株)ユーディット会長兼シニアフェロー／同志社大学客員教授が選出されました。

今年最初の Newsletter は、古瀬新理事長による新年および就任のご挨拶、また新役員の名前を紹介します。



古瀬敏 新理事長

明けましておめでとうございます。2017 年 10 月、清水隆明前理事長に代わり、新しく理事長に就任した古瀬敏と申します。

総裁 瑤子女王殿下のもと、UD のさらなる普及と実現に向けて尽力いたしますので、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、故寛仁親王殿下のお力添えを得て横浜での第 1 回国際 UD 会議開催から満 15 年、IAUD 設立からは 14 年を過ぎました。

この間、国連障害者権利条約ができ、わが国でも条約の批准と合わせて障害者差別解消法が成立・施行され、それらの中でも UD の重要性が強調されていますが、比較的変えやすいところ、あるいはちょうど更新すべき時期に当たって

いたものなどはこれまでにかなり UD 化されたものの、なかなか手がつきにくいものは未だに古い状態のまま残っていて、わが国人口のさらなる高齢化をきちんと見据えているとは言いがたい状態です。

例えば、横浜での国際 UD 会議に米国から参加された車いす使用者は、成田空港から会場にたどり着くまでの移動では駅員の援助を受けなければならなかったと述べた上で、次の来日の機会には自力で移動できるようになって欲しい、との期待を示しました。

今では主要公共交通機関ではエレベーターがほぼ用意されるようになりましたが、遠回りの経路であったり、あるいは利用者数に比して容量不足であったりという状況は未だに続いています。

IAUD は現時点で、「48 時間デザインマラソン」や「UD 検定」、「国際 UD 会議」の実施、また「IAUD アワード」の選定などを通じて、関係者が達成された UD の成果、そして UD の理念を、社会により広く伝えようとしているわけですが、直近の課題である「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」の成功とそのレガシー構築、つまりすべての人が安全でより暮らしやすい環境を実現すべく、さらに努力しなければならない状況にあります。

その達成に向けて、個々の製品やサービスの UDにとどまらず、UD を基盤とした社会システムとインフラ構築に業界の垣根を超えて取り組むとともに、世界で他に先駆けて迎える社会の超高齢化をきちんと踏まえた UD の成果を国際的に発信していきたいと考えておりますので、皆様のさらなるご理解とご協力をこれからもよろしくお願いいたします。

2018 年 1 月  
一般財団法人 国際ユニヴァーサルデザイン協議会理事長  
古瀬 敏

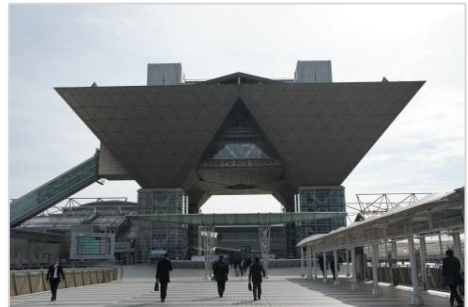
### IAUD 新役員

理事長	古瀬 敏	静岡文化芸術大学名誉教授
副理事長	関根 千佳	(株)ユーディット会長兼シニアフェロー／同志社大学客員教授
専務理事	川原 啓嗣	名古屋学芸大学大学院教授
理事	伊賀 公一	NPO 法人 カラーユニバーサルデザイン機構副理事長
理事	納 幸一郎	(株)産経新聞社東京本社営業局長
理事	替地 あや子	NPO 法人 ユニバーサルファッション協会理事
理事	久保 雅義	京都工芸繊維大学教授
理事	相良 二郎	神戸芸術工科大学教授
理事	松森 果林	聞こえる世界と聞こえない世界をつなぐ UD アドバイザー
監事	大島 誠	名古屋学芸大学教授
監事	成川 匡文	(株)SRA ホールディングス取締役
事務局長	川原 久美子	

## 超高齢化社会に向けた UD の理解と普及へ 「ジャパンシルバーEXPO2017」UD ステージ開催報告

2017年11月20日(月)から22日(水)の3日間、東京ビッグサイト(東京・有明)で開催された「ジャパンシルバーEXPO 2017」(主催:一般社団法人日本能率協会)において、IAUDはセミナー「ユニヴァーサルデザインステージ」を実施しました。

「UD ステージ」の様子を情報交流センターの北村和明所長が報告します。



会場の東京ビッグサイト

### 3日間で約150名が参加

高齢化社会に直面している中、今回が初開催となる「ジャパンシルバーEXPO2017」は、今年42回目となる日本最大級の医療・福祉分野の総合展示会「HOSPEX Japan」と同時開催されました。

「健康・長寿の共同体を目指して」をテーマに、産官学のマッチングの場を提供することを目的としており、「健康・長寿」に関する全ての製品やサービスを一堂に集めた展示会やセミナーが行われました。



盛況だった「UD ステージ」会場

「UD ステージ」では研究部会の各プロジェクトや委員会、会員企業が3日間で9つのプレゼンテーションを行い、述べ約150名の方にご参加いただきました。

そして、これまでの研究活動の成果や先進事例の紹介、高齢化社会に向けたUDの理解と普及に努めました。

次ページより各プレゼンテーションの概要をお伝えします。

「ユニヴァーサルデザインステージ」プログラム		
11月20日(月)	テーマ	発表者
13:50～14:40	「衣・着る」 ～こころ ゆたかに～	衣の UD プロジェクト
15:00～15:50	多様な働き方の研究 ～シニアの充実した就労～	ワーキングスタイル プロジェクト
16:10～17:00	48時間デザインマラソン紹介 障害者と街に出かけ、限られた時間で行う 「体験・発見・デザイン・検証」	ワークショップ委員会
11月21日(火)		
11:10～12:00	テレビ CM にも字幕を！ ～情報の UD とは～	余暇の UD プロジェクト
13:50～14:40	視覚的にわかりやすい緊急時コミュニケー ションと誘導方法	手話用語 サブワーキンググループ
15:00～15:50	一般化するビジネス文書の UD	(株)モリサワ
11月22日(水)		
11:10～12:00	これからの日本の住宅についての研究	住空間プロジェクト
13:50～14:40	48時間デザインマラソン紹介 障害者と街に出かけ、限られた時間で行う 「体験・発見・デザイン・検証」	ワークショップ委員会
15:00～15:50	一般化するビジネス文書の UD	(株)モリサワ

### ① 「衣・着る」～こころ ゆたかに～

発表者:衣の UDPJ 替地 あや子、森 秀男

まずは、衣の UD プロジェクトのこれまでの主な活動内容の報告がありました。

「第5回国際 UD 会議 2014 in 福島&東京」での東京ワークショップ「災害時に必要な衣の要素の抽出」開催、湘南ロボケアセンター(HAL)における歩行アシスト体験、信州大学の歩行ロボット「Curara」のセミナー実施、同大学繊維学部での研修と見学、日本初の絹糸工場である富岡製糸場の見学、東日本大震災の被災地である宮城県女川町での研修会、東北福祉大学で災害用の UD 衣服の研修会、「第4回国際 UD 会議 2012 in 福岡」での発表、などです。

また、UD 衣服の開発については、身体に優しいポロシャツや、身体の構造と機能性について専門書の活用、災害にも役立つ UD ジャケットの開発、などの説明がありました。

さらに、衣服と人間の関係性を、こころとからだ、文化や社会生活などについて誰にでも分かるように和文と英文で編集した冊子「衣・着る」の紹介がありました。



森 秀男メンバー



替地 あや子副主査



UD ジャケットの紹介

## ② 多様な働き方の研究 ～シニアの充実した就労～

発表者:ワークスタイルPJ 室井 哲也

ワークスタイルプロジェクトは、様々な特性をもつすべての人が気持ちよく働ける未来のワークスタイルの実現を目指して活動しています。

これまでに「会議のUD」に必要な3原則「誰もがコミュニケーションをとれる環境」、「誰もが確実にアクセスできる機器」、「誰もが安心して安全に行ける環境」を提案しました。

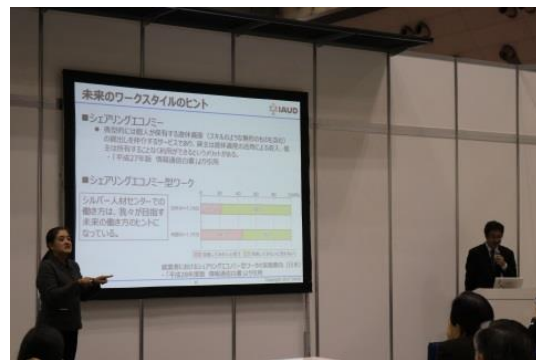
現在は多様な働き方を調査研究する中で、特にシニアの働き方に着目しています。

シルバー人材センターで働く方を取材する中で、最近、仕事の内容や働き方に大きな変化が起きていることがわかりました。

将来の現役世代の働き方を先取りして変化しているとも言える、シニアの方々の充実した働き方に着目しています。



室井 哲也主査



プレゼンの様子

## ③ 48時間デザインマラソン紹介

障害のある方と街に出かけ、限られた時間で行う「体験・発見・デザイン・検証」

発表者:ワークショップ委員会 藤木 武志、木暮 毅夫

48時間デザインマラソンは、障害を持った一般ユーザーとメーカーの企業クリエイターが、共にフィールドリサーチを行いながら、街に存在する施設やプロダクトの課題を発見し、新たなデザイン提案を行うものです。

2017年9月に実施した「第12回48時間デザインマラソン in 東京」のテーマは、「オリパラへ、そしてオリパラ以降の観光」でした。

「東京2020年オリンピック・パラリンピック競技大会」で東京を訪れる多くの外国人や障害者、高齢者など誰もが、安全で快適に楽しめる街やプロダクトのあり方を提案しました。

今回提案されたデザインには、視覚障害者だけでなく、外国人観光客が知らない街でも目的地まで感覚的にナビゲーションしてくれる「VIVIT」、健常者も障害者も観戦シーンでは1つの仲間になり、猛獣になったつもりでチームに応援エールを送れる応援グッズ「GAO」、などがありました。

なお、この提案は東京東信用金庫、株式会社浜野製作所など墨田区中小製造業にて実現に向けた検討が始まっています。

※11月20日と22日に開催



藤木 武志委員長



木暮 毅夫副委員長



プレゼンの様子

#### ④ テレビ CM にも字幕を！～情報の UD とは～

発表者: 余暇の UDPJ 松森 果林、高橋 雅尚

平成 28 年度「字幕付き CM 調査報告」によると、難聴を自覚している人は全国で 3,386 万人、このうち「CM に字幕がついた方が良い」と考えている人は 1,707 万人もいることがわかりました。

超高齢社会において難聴者は増えており、字幕付き CM の重要性は高まっています。

長年 CM 字幕をテーマにしてきた余暇のプロジェクトでは、これまでの取り組みや聴覚障害者と CM 字幕の現状、総務省の最新の調査結果をもとに、CM に字幕がつくことの効果と期待について紹介しました。



松森 果林主査、高橋 雅尚副主査



プレゼンの様子

#### ⑤ 視覚的にわかりやすい緊急時コミュニケーションと誘導方法

発表者: 手話用語 SWG 高橋 雅尚、東 裕佑

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、放送が聞こえず、どこに避難すればよいのか、身を守るために必要な情報へのアクセスが困難な方が多くいらっしゃいました。

聞こえにくい高齢者や聴覚障害者、日本語に慣れていない外国人が抱える「災害時の音声によるコミュニケーションが困難」に対して、手話用語サウワーキンググループは「視覚的にわかりやすいボディランゲージ」をテーマに挙げ、活動してきた成果を紹介しました



東 裕佑メンバー



高橋 雅尚メンバー



プレゼンの様子

## ⑥ MORISAWA BIZ+ ～だれもが使える UD フォント～

発表者: 株式会社モリサワ 長 武史

私たちは情報の多くを視覚から得ています。そして、その視覚情報のほとんどは、文字によってもたらされていることは、もはや疑いのないことでしょう。読みやすく、正確に伝えることが求められる情報にこそ、「見やすい」「読みやすい」「間違えにくい」UDフォントが効果を発揮します。

だれもが使える UD フォントとして、「BIZ UD ゴシック／明朝 スタンダード版 3 書体(無償)」の紹介と、書体のバリエーションも豊富で様々な場面で効果を発揮する「BIZ UD フォントアドバンス版 25 書体」の紹介をしました。

※11月21日と22日に開催



長 武史社員



プレゼンの様子

## ⑦ これからの日本の住宅についての研究

発表者: 住空間PJ 宮脇 伸歩

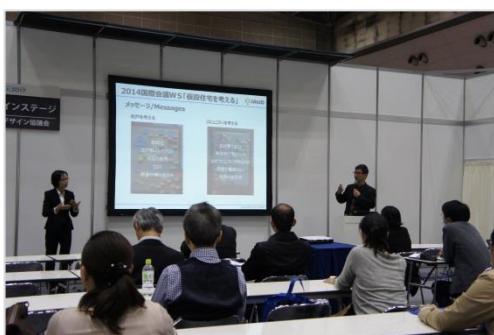
住空間プロジェクトでは、これからの日本の住戸の在り方と、防災にも必須のコミュニティの在り方について研究し、これからの日本の住宅について提案を行うことを目標としています。

東日本大震災の仮設住宅視察では、公平の原則による標準仕様については再考が必要である、という気づきが生まれました。

また、世の中の先進事例から学ぶという新空間視察を開催したほか、これから増加が見込まれるシェアの住まいや多世代の住まい方の事例、2017年度に施した学生コンペについて紹介しました。(了)



宮脇 伸歩主査



プレゼンの様子

月	火	水	木	金	土	日
1 元旦 事務局・サロン 年末年始休業	2	3	4	5	6	7
8 成人の日	9	10	11	12	13	14
15 10:00～ 研究部会 @IAUD サロン	16	17	18	19 13:00～ 手話用語 SWG @六本木 T-CUBE 13:30～ 標準化研究 WG @IAUD サロン	20	21
22 15:00～ 住空間 PJ @凸版印刷 秋葉原 L・IF・E	23	24 10:00～ ワーキングス スタイル PJ @IAUD サロン	25	26	27	28
29 15:00～ 運営委員会 @IAUD サロン	30	31				

次号は 2018 年 2 月発行予定  
特集:衣の UDPJ 活動報告 他

IAUD 情報交流センター(IAUD サロン):  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階  
電話:03-5541-5846 FAX:03-5541-5847 e-mail:[info@iaud.net](mailto:info@iaud.net)